

第 29 回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：平成 31 年 2 月 25 日（月） 11:10～11:45
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席した委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・高山委員
 - ・竹原委員 ・蜂須賀委員
4. 議 事
 - (1) 退職等年金給付調整積立金における基本ポートフォリオの見直しの検討について
 - (2) 平成 30 年度第 3 四半期の各積立金の運用状況（地共連）
 - (3) 平成 30 年度第 3 四半期の各積立金のリスク管理状況（地共連）
 - (4) 平成 30 年度（4 月～1 月）の資産配分の状況について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

- (3) 平成 30 年度第 3 四半期の各積立金のリスク管理状況（地共連）
 - 第 3 四半期のように相場が大きく動いた時には、リスクの振り返りが必要である。例えば、米国の株式市場が下落した影響がどういう数字として出ているのか、想定より大きいのか小さいのか、といったような感覚を今後の運用に活かして貰えればと思う。
 - バリュースコア・リスクは、過去 1 年の日次データに基づいて、保有期間 1 年のバリュースコア・リスクを計算している。この方法では、潜在的なリスクを把握できていないと思う。イベントがあったときに、どうやって今後の運用に活かしていくかという観点から、もう少し別のリスク管理の方法だとか、あるいはバリュースコア・リスクのほかの計算方法だとかを検討したほうがよいのではないか。
 - 国内株式に関して、東証が上場区分の見直しを検討している中、規模が小さな企業がベンチマークから外れる可能性は結構大きく、業種別に見ているだけではリスクを把握しきれない。特に時価総額を中心

とした規模について、ポートフォリオを少し分析しておいたほうがよいのではないかと思う。

以上